

第143回 夏季沖縄ブロック少年野球大会

第13回 沖縄タイムス沖縄市・北谷町販売店会ワラビー杯

1. 目的 少年野球チームの育成と子供達の体力増進をはかり、野球を通し、心身共に健全で逞しい児童生徒の育成を目的とする。
2. 主催 沖縄県軟式野球連盟中部北支部学童部沖縄ブロック
3. 会期 **令和4年6月4日(土)～令和4年7月3日(日) 予定**
4. 会場 パヤオ球場・他各小学校
5. 開会式 **新型コロナウイルス感染拡大防止により、開会式は行いません。**
6. 参加資格
 - ①沖縄ブロックに登録したチームであること。
 - ②参加選手は必ずスポーツ安全保険加入者であること。
 - ③平成22年4月2日以降に出生した者。
 - ④代表の部はチームを代表するチーム。(背番号0～27まで)
 - ⑤中学年の部は5年生以下で結成したチーム。
 - ⑥低学年の部は4年生以下で結成したチーム。
 - ⑦代表・中学年の部は1チームのみ、低学年の部は複数登録可能。
 - ⑧低学年Bは4チーム以上出場の場合行う。
 - ⑨低学年A・Bの二重登録は出来ません。
7. 参加料 1チームにつき8,000円(その他1チームにつき3,000円)
参加料は監督会、抽選会の会場で徴収致します。低学年合同チームの場合は人数に問わず両チーム折半でお願いします。
8. 申込必着期日 令和4年5月22日(日)県野連指定申し込み用紙で監督会議の際に提出お願いします。
9. 監督会議・抽選会 令和4年5月22日(日) 16:00～沖縄市産業交流センターにて行います。
※各チームの指導者または代表者1名参加とする。
※コロナ感染状況によっては、中学年、低学年の大会を中止することもあります。
10. 試合方法
 - ①試合は、代表の部の6イニング(90分)16m・中学年の部の6イニング(90分)16m・低学年の部5イニング(70分)14m、塁間は21m、ホームベースは、一般用を使用する。
 - ②6回を完了または試合開始後、1時間30分経過後の均等回完了時に同点の場合は、特別ルールを適応する。無死1,2塁(最大2回、その後抽選)
 - ③代表、中学年、低学年、**3年生以下**は、トーナメント方式とする。3回以降10点差、5回以降7点差以上の得点差は、コールドゲームとする。(代表の部の決勝戦は除く)
 - ④降雨時は中断し審判部の指示を待つ。
 - ⑤日没・雨天にて、当日で試合消化できなかった場合は原則、後日継続試合とする。
※継続試合は選手起用等も継続とする。
又、中・低学年は雨等で日程が組めない場合は継続試合にならない場合もある。
 - ⑥守備タイム及び攻撃タイムは、1試合(7イニング)それぞれ3回までとする。但し、タイブレークは1回までとする。※同イニングに2回守備タイムは自動的に投手交代となる。
 - ⑦代表のバークは即適応する。中学年は1回注意、2回目から適応する。
低学年の部は、指導とする。
 - ⑧ピッチャーのイニング制限、1日70球までとする。低学年の部は、1日60球までとする。
 - ⑨その他競技者必携に準ずる。
 - ⑩使用球:(財)全日本軟式野球連盟公認球内外J号ボールを使用する。
⑪3年生以下の試合に関しては、県大会(島田杯)のルールを適応する。別紙参照。
11. 表彰 優勝チームには、賞状・優勝旗・楯・優勝メダル・優勝カップ、準優勝チームには賞状・楯・準優勝メダルを授与する。尚、代表の部の優勝、準優勝、3位のチームは沖縄ブロック代表として沖縄県大会に派遣する。**3年以下上位3チームは、島田杯に派遣する。**

12. 審判

①審判は、必ず沖縄ブロック指定の審判服を着用すること。

審判に必要な道具は各自で準備する。

②代表の審判は、経験豊富な審判員2名を派遣する事。

中学年の部、低学年の部の審判に関しては、父母でも可とする。

13. その他

大会本部は試合球のみ準備する。オーダー用紙ロジンバックは、各チームで準備する。